

下野市行政改革推進委員会 議事録

- ・ 審議会等名 令和元年度 第5回下野市行政改革推進委員会
- ・ 日 時 令和元年12月11日(水) 午前10時00分から12時00分
- ・ 場 所 下野市役所 2階 203会議室
- ・ 出席委員 中村祐司会長、植草英一郎委員、小池隆男委員、手塚英男委員、金田幸子委員、橋田一成委員、川俣一由委員、角田充仙委員、宮下明枝委員、小島恒夫委員、蓮見忠夫委員
- ・ 欠席委員 なし
- ・ 市側出席者 (事務局) 小谷野総合政策部長、福田総合政策課長、荻原課長補佐、猪瀬主幹、菊地主事
- ・ 公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)
- ・ 傍聴者 なし
- ・ 報道機関 なし
- ・ 議事録(概要) 作成年月日 令和 年 月 日

○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 議事録署名人の指名
 - (2) 行政評価市民評価まとめ
 - (3) 第四次下野市行政改革大綱(案)及び実施計画(案)について
 - (4) その他
- 4 閉 会

○開会

(事務局) 令和元年度第5回下野市行政改革推進委員会を開会いたします。

○あいさつ

(事務局) 開会にあたりまして、中村会長よりご挨拶を申し上げます。

(中村会長) 本日は10事業について、委員会での評価決定をしております。市民協働における貴重な機会となりますので、よろしく申し上げます。

○議事

(1) 議事録署名人の指名

(中村会長) 今回の議事録署名委員を指名させていただきます。小島委員、蓮見委員にお願いいたします。

(2) 行政評価市民評価まとめ

[資料1に基づき説明]

- (中村会長) 本日の発言も報告書を作成するうえで、重要となるためよろしくお願ひいたします。はじめに、広報広聴業務事務費についてご意見等ありますか。
- (宮下委員) 私個人の評価として、妥当でない、内部評価が高すぎるとしました。しかし、記入した評価意見として、「おおむね妥当である」、「やや妥当でない(内部評価が高すぎるため)」との評価意見と似通っている部分もあります。コミュニティFMを活用することで、個々の家庭にまで情報が行き渡ることに関しては効率性があると思いますが、情報社会の中で、必ずしも届くとは限らないとの考えもあり、事業全体の評価は高くないと判断しました。また、私の意見と他の評価をした委員の意見で、似ている部分もあると思います。
- (中村会長) 評価が異なっても、評価意見が似通っている場合もあると思います。
- (小島委員) 約1時間の中で、10事業の評価を決定するためには効率的に進める必要があると思います。委員の個別評価数が出ているため、そこで判断するうえで重点を置くとういと思います。加えて、評価意見等を参考とすべきだと思います。
- (中村会長) それでは、委員の個別評価数により、広報広聴業務事務費については、「おおむね妥当である」とします。続いて、コミュニティセンター運営事業について、意見はありますか。
- (小島委員) 高齢福祉課にて自治会区域想定図があるにも関わらず、ヒアリングの際に資料として提示されなかったため、庁内で情報共有を図り、調整していただきたいです。自治会の想定エリアやコミュニティセンターの設置状況について、図面がないと分からないと思います。しかし、コミュニティセンターの必要性等を考慮して、私は「おおむね妥当である」と評価しました。
- (中村会長) 委員個別評価からも判断し、本事業は「おおむね妥当である」としてよろしいと思います。続いて、財政管理事務費について、ご意見等ありますか。
- (宮下委員) 財政全体のことについては「妥当である」と判断していますが、改善すべき点等の意見もありました。意見はありつつも、全体の評価は妥当とする判断もあることから、そこをどうすべきか難しいと思います。
- (中村会長) 「妥当である」、「おおむね妥当である」と判断しても、意見として、厳しい意見があってもよいと思います。本事業は「おおむね妥当である」と判断してよいと思います。続いて、市内公共交通運行事業について、ご意見等ありますか。
- (川俣委員) 事業を進めるうえで参考となるよい意見が多いため、「おおむね妥当である」と評価し、意見を参考としてもらうようにするとよいと思います。
- (事務局) 委員より出していただいた意見は、類似意見をまとめることやそぐわない意見を除くことはありますが、基本的に市民評価報告書にすべて記載します。その報告書を参考に、来年度以降の事業取組に活かしていく流れになります。
- (中村会長) それでは、「おおむね妥当である」と評価し、事業を進めるうえで意見を参考にしてもらいたいと思います。続いて、地域生活拠点等事業について、ご意見等ありますか。
- (宮下委員) 「妥当でない」と評価しましたが、「妥当である」、「おおむね妥当である」とし

た意見と重なる部分もあることから、「妥当である」もしくは「おおむね妥当である」と評価してよいと思います。

(中村委員) 委員個別評価数より、「おおむね妥当である」としてよいと思います。続いて、声かけふれあい収集事業について、ご意見等ありますか。特になければ、「おおむね妥当である」と評価したいと思います。続いて、農地中間管理機構関連農地整備事業について、ご意見等ありますか。

(宮下委員) 「やや妥当ではない（内部評価が高すぎるため）」の2つ目の評価意見として、「社会経済情勢に合っていると思えない」と記載されているように、本事業の下野市における将来的なビジョンが示されていなかったと思います。「おおむね妥当である」の4つ目の評価意見として、「下野市の裁量の余地がほとんどない」と記載されているように下野市としての将来のビジョンがない状況なのかとも捉えられ、評価が難しいと思います。事業において、「妥当である」と思われる部分があれば「妥当ではない」と思われる部分もあります。

(事務局) 類似した意見であっても評価結果が異なることがあることから、委員会として、総合的に判断したうえで評価をしていただき、そのなかで個別の意見を出していただければと思います。

(中村会長) 委員会としては、「おおむね妥当である」と評価します。続いて、高速道路スマートIC整備事業について、ご意見等ありますか。特になければ、委員個別評価数の割合より「妥当である」と評価します。続いて、教育環境管理事業について、ご意見等ありますか。

(宮下委員) 本事業で「妥当である」と評価した人はおらず、「おおむね妥当である」とした評価のなかでも、「妥当ではない」とする意見も含まれています。また、「やや妥当ではない」、「妥当ではない」とする意見もあることを、評価の判断材料とすべきだと思います。

(川俣委員) 本事業は継続事業であることから、今回は委員会としてはひとつの評価をしつつも、来年度以降の取組に対する個人の意見は委員会等、市民と行政が意見交換し合う場に出せればよいと個人的に思います。

(中村会長) 「おおむね妥当である」と評価し、そのうえで、今後の取組について意見を述べるようにしたいと思います。続いて、石橋複合施設整備事業について、ご意見等ありますか。

(川俣委員) 土地を利活用するという点では、必要かつ妥当であると評価できますが、整備した施設の利用状況等への不安を考慮すると、「おおむね妥当である」と判断もできると思いました。

(中村会長) 「やや妥当ではない」と評価した委員もいることから、「おおむね妥当である」と評価したいと思います。

(事務局) 評価の確認をします。広報広聴業務事務費は「おおむね妥当である」、コミュニティセンター運営事業は「おおむね妥当である」、財政管理事務費は「おおむね妥当である」、市内公共交通運行事業は「おおむね妥当である」、地域生活拠点等事業は「おおむね妥当である」、声かけふれあい収集事業は「おおむね妥当である」、農地中間管理機構関連農地整備事業は「おおむね妥当である」、

高速道路スマートIC整備事業は「妥当である」、教育環境管理事業は「おおむね妥当である」、石橋複合施設整備事業は「おおむね妥当である」、でありました。

(3) 第四次下野市行政改革大綱（案）及び実施計画（案）について

[資料2、3、参考資料1に基づき説明]

(小島委員) PDCAやSDGsとの関連性について記載したほうがよいと思いますがいかがでしょう。

(事務局) 資料2の13ページをご覧ください。推進方針について、実施計画を策定し、内部で進捗管理を行う、また、行政改革推進委員会にて確認していただく記載しており、PDCAにつながっていると考えています。行政改革推進委員会がPDCAの一環となっています。SDGsは、最上位計画である第二次下野市総合計画後期基本計画に記載する予定です。

(宮下委員) SDGsについては、基本的な政策があるうえで示すべきと思うため、大綱に記載する必要はないと思います。

(手塚委員) 資料2の14ページにアウトソーシングの記載がありますが、アウトソーシングの管理等を行わないと、市民とのトラブルに生じると思います。アウトソーシングを活用する際には、管理もしっかりと行ってください。平成31年4月に景観行政団体に入ったと聞きました。景観条例や景観計画を策定していく予定していると思いますが、行政改革には含まれないのですか。

(事務局) 来年度より景観条例の策定等を行う予定ですが、行政改革に含めるかどうかの担当課の判断の中で、実施計画には記載していません。

(川俣委員) 資料2の3ページ、2行目に「市町村合併による」と記載されていますが、下野市は3町合併であるため、市町村と記載する必要はないように感じます。事務局にて判断をお願いします。

(蓮見委員) 資料2の4ページに、「下野市定員適正化計画における職員数の推移」のグラフがあり、職員数が減少していることが分かります。職員数を適正管理し、スマート自治体への転換を目指すならば、指定管理者制度の導入やアウトソーシングの状況を考慮したうえで適正に管理していくべきだと思います。また、指定管理者制度の導入や外部委託を有効活用できているかも調査するべきであると思います。

(川俣委員) 資料3の4ページ、「審議会等の効果的な運営の推進」の目標値が高すぎるように思います。

(事務局) 公募委員目標値を達成している審議会の数の割合を目標値としています。

(小島委員) 資料3の14ページ「職員人材育成基本方針等の推進」について、資格取得等の促進をすることが目標となっています。この項目については、資格取得人数等、数値目標にすべきではないですか。

(事務局) 小島委員の意見を所管課に伝え、検討いたします。

(宮下委員) 下野市といえば文化財が有名ですが、文化財の項目がないのはなぜですか。

(事務局) 行政改革は事務の効率化等を目指しているため、文化財は適する取組がなかなか

かないのが実情です。

(小島委員) 資料3の5ページ、「生涯学習による協働のまちづくりの推進」において、学校運営協議会にてコミュニティスクールや学校を核とするまちづくりについて検討、推進していただければと思います。

(4) その他

(事務局) 本日の会議録は、調整次第、郵送にて送付させていただく予定です。内容等をご確認いただき、訂正等については返信用封筒を同封しますので、あらかじめご報告いただき、次回会議において確認します。次回委員会について、市民評価報告書の最終確定と市長への報告書提出となり、2月12日開催を予定しています。開催通知は後日送付します。

(中村会長) 本日予定されていた議事はすべて終了したため、事務局に進行をお返しします。

○閉会

(事務局) 以上で、令和元年度第5回下野市行政改革推進委員会を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員